

**2011 年度 超電導応用研究会
第 1 回超電導応用研究会シンポジウム**

KEK では、1984 年に運転を開始した電子陽電子衝突型加速器 TRISTAN において、世界で初めて超伝導加速空洞を粒子加速に実用化して以来、世界の超伝導加速空洞技術開発をリードしてきました。小林・益川両博士のノーベル賞受賞を後押しした KEK-B ファクトリー加速器計画においても、超伝導加速空洞基幹加速装置として活躍しました。現在は、次世代の放射光研究施設のための新たな超伝導加速空洞開発が進展しています。また、全世界的国際協力で推進が計画されている国際リニアコライダー計画(ILC)実現に向けて、KEK は超伝導加速空洞技術開発において国際的なセンターの一つとして、重要な役割を果たしています。本シンポジウムでは KEK-B、次世代放射光施設(cERL)、ILC 用超伝導加速空洞試験設備(STF)、そして超伝導加速空洞開発施設の紹介／講演および見学を計画しています。

記

テーマ： KEK における超伝導加速器技術開発の進展と将来展望

日時： 2011 年 5 月 17 日 (火) 13:50-17:30

場所： KEK, 高エネルギー加速器研究機構 つくばキャンパス 研究本館 1 階会議室
〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

交通案内： TX つくば駅からバスもしくはタクシー (<http://www.kek.jp/ja/access/>)

「バス 5 番乗り場」：つくばセンター発 (13:20) テクノパーク大穂行、または

「バス 6 番乗り場 つくばバス：北部シャトル」：つくばセンター発：(12:25 または 12:55) 小型バスです。定員にご注意ください。

参加費：(資料代) 2,000 円

なお、懇親会 (17:30-19:00、費用別途 2000 円) を KEK 内で行う予定です。奮ってご参加ください。

プログラム：

- 13:50-14:00 開会／歓迎挨拶 超電導応用研究会委員長
- 14:00-14:10 KEK における超伝導応用の展開：概要 山本 明 (KEK)
- 14:10-14:40 KEK 加速器・超伝導加速空洞技術開発の進展 古屋 貴章(KEK)
- 14:40-15:10 国際リニアコライダー計画における超伝導加速空洞技術開発 . . 早野 仁司(KEK)
- 15:10-15:40 KEK 超伝導加速空洞・製造技術開発施設の構築 佐伯学行(KEK)
- 15:40-17:15 見学 エネルギー回収型超伝導リニアック(cERL)建設状況 >>
超伝導(加速器)試験施設(STF)
超伝導加速空洞・製造技術開発施設
- 17:15-17:30 質疑および閉会挨拶 超電導応用研究会委員長

オーガナイザ： 荻津透(KEK)、山本明 (KEK)

※ ご参加頂ける方は、5/10(火)までに下記宛ご登録をお願い致します。

(1)参加者氏名、(2)所属、(3)電話番号と e-mail アドレス

問合せ・事前登録連絡先： KEK 荻津透 (scap2011@ml.post.kek.jp)

2005～2008 年度の超電導応用研究会シンポジウム論文集 CD-ROM を販売しています(各年度 2,000 円で送料込み)。問合せ先：低温工学協会事務局 TEL :03-3818-4539, E-mail : LDJ04246@nifty.com